

【学習目標/学習方法】

- ・英語の基本的な知識を身につけ、実際に運用できる能力を養う。
- ・英語を学ぶことを通して、言語や文化についての理解を深め、国際理解を深めていこうとする態度を養う。
- ・自分の考えや、思いを適切に伝えることができ、他者の話を理解しながら互いを認め合い、自身を高めていこうとする力を養う。

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	Unit 0 (小学校 復習他) 6h	Unit1 (be動詞、 一般動詞) 9h	Unit2 (一般動 詞、疑問 詞) 9h	Unit3 (一般動詞) 発表 11h	Unit4 (疑問詞、 複数形) 9h	夏 休 み	Unit5 (前置詞、 過去形) 10h	Unit6 (三人称単数 現在形) 13h	Unit7 (代名詞) 12h	Unit8 (現在進行形、 感嘆文) 15h	Unit9 (want to, need look 形容詞) 12h	冬 休 み Let's Read 4h	Unit10 (一般動詞 の過去形) 10h	Unit11 (be動詞の 過去形) 12h	発表 復習 活動 4h
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	Unit0 春休みの 思い出 (be 動詞過去、 過去進行 形) 4h	Unit1 旅の予定を伝 える他 (be going to, will SVOC) 14h	Unit2 好きな食べ 物を伝える 他 (接続詞) 14h	Unit3 経験や将来の 夢を伝える他 (不定詞、動名 詞) 17h	夏 休 み	Let's read 時間軸に 沿って物 語の概要 をとらえる 4h	Unit4 日本と他の国との 生活習慣や文化の 違いを説明する他 (助動詞) 16h	Unit5 ユニバーサルデザ インの商品や場所 を説明する他 (疑問詞+to) 16h	Unit6 身近なトピックにつ いて事実を比べたりしな がら説明する他 (比較) 21h	冬 休 み Let's read 場面や 心情を 読み取 る 5h	Unit7 世界遺産を紹介するこ とができる他 (受け身) 18h	町調べ 発表 復習活 動 7h	Let's read 環境課題 について 読み取る 5h		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	Unit0 言語など 国特徴や 魅力を伝 える… 4h	Unit1 日本滞在 プランを考 える(現在 完了①)他 12h	Unit2 取り組んできた ことについてた ずねあう(現在 完了②、現在 完了進行形)他 15h	Unit3 絶滅危惧の動 物についてで きることを考 える(不定詞)他 16h	Let's read Mother 's Lullaby 5h	夏 休 み	Unit4 防災についての情報 を読み取り話し書 く(関係疑問文、SVOC) 他 16h	Unit5 ガンディーの生涯につ いての文章の要旨を捉 え説明する(接続節、関 係代名詞)他 16h	Unit6 世界の現状についての話 の概要を捉えて感想や意 見を伝える(仮定法)他 18h	冬 休 み	総合問題演習、発表活動 22h	Let's read エネル ギー問題 について 読み意見 を伝える 4h	Let's read スピーチ の原稿を 読み要点 をつかみ 説明する 6h		

計 140 h

<p>・授業について * 授業は基本的に英語で行います。集中して聞き続けると理解が進みます。 * 授業は教科書の内容を中心に進めていきます。また、学んだことを使って応用的な内容を行うこともあります。 * 副教材としてワークなどを使用します。その他、教科係から連絡があったものを必ず持ってきてきましょう。</p> <p>・生徒のみなさんに * 英語を学ぶ時「聞く、読む、話す、書く」の全てが身に付くことで英語力になります。 * 大切なことは「積極性」です。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「他の人とのやり取り」すべての活動に積極的に取り組みましょう。 * わからないところは、質問しましょう。 * 英語を通して学べる様々な国の文化についても、関心をもち、自分の視野を広げていきましょう。 * 教材がないと自分の学習が遅れます。忘れ物をした場合は、授業開始前に必ず先生に伝えましょう。</p>	<p>・家庭学習について * 授業の最後に課題があります。学習の定着に必要ですので、必ず取り組みましょう。 * 授業で行ったことの復習は、その日のうちにやりましょう。(教科書の音読、ノート練習、まとめ 等) * 提出物は計画的に取り組み、期限までに提出しましょう。課題は評価に含まれます。</p> <p>・試験前はこのような取り組みも * 教科書の範囲を音読して書く練習をしましょう。(暗唱できるまで読むことで、読み方や使い方などの知識を増やすだけでなく、内容の理解にもつながります。) * ノートやワークシートなど、一度書いたものの発音や書く練習をしましょう。(授業中に書いた文や、語句を確認しましょう。) * ワークの問題の間違えたところを必ず書き直しましょう。(一度学んだことを「繰り返し」復習することが学習の定着には大切です。) * テレビの英語学習番組や、映画、音楽など、実際の英語を見聞きしたり発音する時間をもつと、英語力向上につながります。</p>
---	--

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単語・連語テスト(スプリングコンテスト) ・基本文テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト(会話・スピーチ・音読)(正確さ・流暢さ・つなぎ言葉等) ・リスニングテスト ・ディクテーションテスト ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動 ・授業での即興的なスキットやスピーチ(内容・工夫) ・定期テスト ・単元テスト ・パフォーマンステスト(内容・工夫) ・作文等作品(内容・工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察(活動への取り組み状況など) ・提出物に対する取り組み ・会話テストやスピーチ(話し方・積極性等) ・授業での即興的な会話やスピーチ、自己表現作品等の取り組み